

# すずらん通信

Vol.47  
令和4年  
10月1日  
発行

## 公認心理師実習生受け入れ

鈴蘭学園始まって以来の学生実習の受け入れをしました。桜美林大学の学生さん3名で、皆さんこの実習の後に大学院へ進学し、その後、国家資格である公認心理師の試験を受けるとのことです。1人5日間の実習で、9月は一人目の学生さんが来られました。初日はかなり緊張していましたが、2日目、3日目となるに従って緊張もほぐれ、笑顔で接することが増えていきました。最終日は、とても自然体で子どもに接していました。お疲れ様でした。最後には、実習担当の先生がお見えになり、一緒に園を後にしました。

後日、お礼状が届きました。これから先も頑張ってくださいね。応援しています。(中村 鳴美)

## フリ・フリ・フェスタ2022

3年振りに、神奈川県不登校・ひきこもり等関係団体によるフリーマーケットが行われました。鈴蘭学園は雑貨や古着、乾物類を売るブースを設け、スタッフと一組の親子の参加で行いました。新型コロナや会場の改修工事の影響もあり、来客者数はかなり少ないように思えました。売上も三年前の半分ぐらいでした。

参加した生徒は小学校低学年の子ですが、色々なことに興味を持ち、今回のフリーマーケットも前々からやりたかったことの一つだとお母さんから仰っていました。良かったね、やりたかったことが達成できて。お疲れ様でした。いつまでも、ワクワク感いっぱいの気持ちを大切にね!!(中村 鳴美)



## 不登校相談会・進路情報説明会

年に一度、神奈川県教育委員会と相模原市教育委員会主催で行われている相談会に、鈴蘭学園もブースを設けて、参加しました。この日は、全体で52組・87名・151件の相談があり、鈴蘭学園も9件の相談を受けました。小学校低学年と中学1年生の相談が多く見受けられました。フリースクールがどういう場所かを聞きに来られた方が何名かおり、まだまだフリースクールの周知の不足を実感しました。(中村 鳴美)



## リリーベル活動報告

9月になりましたが、厳しい暑さが続いたり、寒暖差が激しくなる日が多くなりました。季節の変わり目を肌で感じ、いよいよ秋になるのだと実感する日々でした。これから秋になるのが楽しみです。

8月上旬、電車の旅に行ってきました。利用者の子から京王線でどこか行きたいという提案があり、1日乗車券を使って多摩動物公園そばにある京王れーるランドをゴールとし、途中、他の駅にいくつか降りて駅近くの名所を周りました。電車にのんびり乗りながら、サンリオピューロランドや土方歳三像を巡ったり、各駅の電車の接近メロディーを聞いてみたりと電車ならではの旅を楽しみました。かなり遠くまで移動したため、終盤は皆疲れた様子でしたが、充実した旅となりました。また機会があればみんなと電車で行きたいですね。

8月下旬、境川に行き川遊びをしました。川の水が冷たくて気持ちのいい中、泳いでいるメダカなどの魚

を網で捕まえ観察したり、川に足首まで入り川の流れを感じるなど、川での遊びを満喫しました。

9月に町田市、祥雲寺にて行われた寺フェスに参加しました。寺フェスでは子どもたちが作ってくれた手作り手芸作品の販売や、勇者の剣くじというテーマでくじを作成してお客様に楽しんでもらったり、寄付で集まったトレーディングカードや雑貨の販売を行いました。子どもたちが寺フェスに向けて作品作りや販売品の設置などの準備を行い、また、当日では会計やお客様への宣伝など、子どもたちがお店の運営に積極的に参加し、盛り上げてくれました。当日までの準備を担当してくれた方や、当日参加し、お店の運営を担当してくれた皆さまお疲れさまでした。ありがとうございました。寺フェスの準備や当日のことを振り返り、「参加してよかった」という声や、「ブースをもっと広くしてはどうだろうか」「お客さんを集めるために値段や宣伝を見直そう」など、感想や改善点等を子どもたちが挙げてくれています。今回の経験や意見を参考に、次の寺フェスがもっと盛り上がるものになっていったらと、次回の寺フェスへの期待感でいっぱい

す。

8月の調理活動ではお盆もあるため、お祭りの雰囲気を楽しめたらと思い、縁日らしく提灯の飾りを折り紙で作り部屋に飾り、縁日らしい食べ物としてきゅうりの一本付けや焼きそばなどを作ったり、せんべいにソースと青のりで絵を描いて食べるなどしました。

9月の調理活動では和食定食を作ったり、おやつ作りではバナナアートなどの様々な調理活動をこなすようになり、子どもたちの料理スキルがどんどん高まっていくのを改めて実感することも多くなりました。中にはメニューのアイデアを子どもたちが出してくれ、作ってみるという企画もありました。来月の調理活動も楽しみです。 (佐野 拓哉)



## 中村のちょっと感動した話

寺フェスに参加した子どもたちの中に、小学校低学年の子がいました。初めての寺フェス参加、そして、外での活動も初めて。緊張はしていたものの、声を出しての呼び込みがとても素晴らしく、何人かのお客さんがくじや雑貨などを買って行ってくれました。その時、彼は何を思ったのか、紙と鉛筆を私に求め、来た人数を「正」という字を用いて紙に書いていきました。その後も、彼がお店番をしていない時には、違う子どもが、「正」を書いて人数を把握していました。スタッフが教えた訳ではなく、自らの工夫が、子どもたちを通して伝えられていくのだなと感動しました。



リリーベルのお店

## お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。  
まずは、ご相談ください。

**相談専用ダイヤル TEL : 042-733-0015**

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。